

# やどりが

第 222 号 (2009)

YADORIGA

Published by The Lepidopterological Society of Japan

## - 目次 -

|                                    |                  |    |
|------------------------------------|------------------|----|
| LEPI-PHOTO コーナー 対島の蝶と蛾 .....       | 境 良朗 .....       | 2  |
| 対馬の気になる蛾 .....                     | 古川 雅通 .....      | 6  |
| オキナワクロホウジャク大陸亜種の記録 .....           | 古川 雅通・境 良朗 ..... | 12 |
| 対馬のクロツバメシジミ、九州のクロツバメシジミ .....      | 里中 正紀 .....      | 13 |
| 有名採集地の思い出 チョウの生息地 今昔 ～松本市藤井谷 ..... | 田下 昌志・丸山 潔 ..... | 28 |
| ウスマダラカレハと思われるものを採集 .....           | 三宅 誠治 .....      | 30 |
| ヒメシロチョウの食草による産卵行動の違い .....         | 平野 俊秀 .....      | 32 |
| 会 務 報 告 .....                      |                  | 34 |
| 向こう1年会合予定 .....                    |                  | 37 |



## 表紙の写真 (Cover)

「ツシマウラボシシジミ」

撮影：2007/7/8  
長崎県対馬市上県町

ツシマウラボシシジミは、スギが植林された沢沿いなどでよく見られる。以前は峰町の三根川より北に分布していると記されていた。ところが急に南下した時期があり、今では豊玉町まで生息している。その南下の原因が何なのか、不思議だ。

この個体は2化目の個体。裏面亜外縁の筋が明瞭に出ている。1化目は本誌3ページを見るとわかるように、不明瞭。ただし、基本的に個体の大きさは、2化目以降の方が小さい。

撮影 境 良朗 (さかい よしあき)

# LEPI-PHOTO コーナー

## 対馬の蝶と蛾



境 良朗

クロツバメシジミ

2007 年 8 月 17 日

対馬市上対馬町

このような厳しい環境にも適応している。海クロツの雰囲気が出ていると思う。

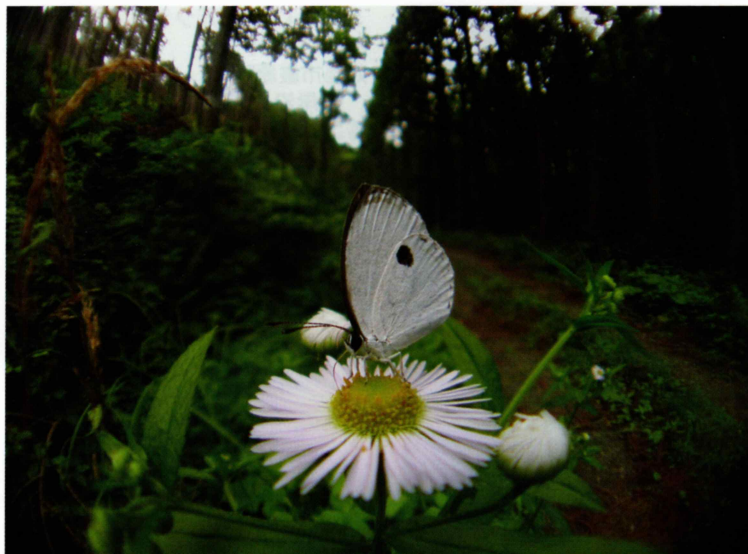


表面青色斑が発達したクロツバメシジミ

2007 年 4 月 14 日

対馬市上対馬町

後翅外縁の青白紋が2重になる個体はよく見られるが、前翅まで現れることは珍しい。



ツシマウラボシシジミ

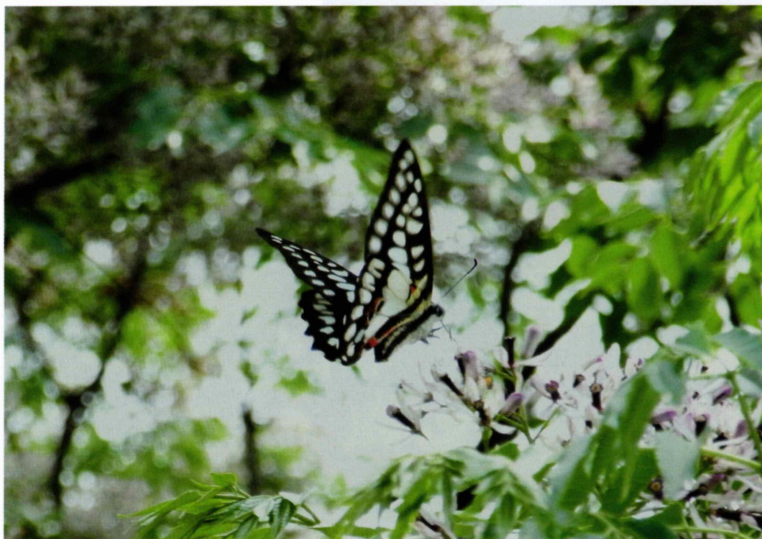
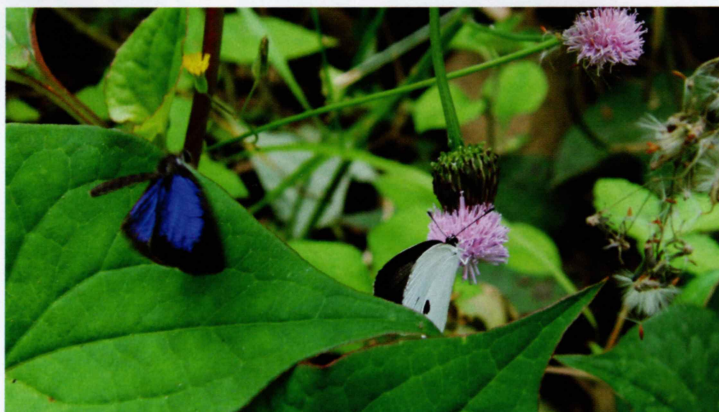
2008 年 6 月 8 日

対馬市豊玉町

本種は、このようなスギの植林の中の、林道でよく見つかる。

ツシマウラボシシジミ  
ー吸蜜中のめすに近づくおすー  
2009 年 5 月 30 日  
対馬市豊玉町

めすの表面に弱い白斑が見える。  
このような個体は春型に出る。



ミカドアゲハ

2008 年 5 月 23 日

対馬市厳原町

本種の対馬での生息地は非常に限られている。対島産は、裏面の赤斑が小さい。



ミズイロオナガシジミ

2005 年 6 月 5 日

対馬市厳原町

海岸沿いのカシワ林にも生息する。対馬産は写真の個体のように、裏面の黒帯が細いことで有名だが、帯の太い個体もいる。



ツマキチョウ

2005 年 4 月 18 日

対馬市上県町

対馬産は、前翅中室に黒色鱗があまり散布していない。

ツシマキモンチラシ

2006 年 7 月 3 日

対馬市上県町

初夏、クリやアカメガシワの花に訪花する姿が見られるが、近年激減した。本州の和歌山県では絶滅危惧Ⅰ類、長崎県で地域個体群に指定。





トビネシャチホコ

2005年3月3日

対馬市上県町

年1化，早春に現れる1属1種の珍しい蛾である。卵期はおおよそ10日前後。これは外気温が関係しているので自然状態ではブナ科（推定）の植物が芽吹く時期に合わせていると考えられる。

ヒメアトスカシバ

2008年7月21日

対馬市上県町

美津島町で初めて見たときは、「こんな黒いスカシバガがおったかいなあ？」と思ったが、形態的にはヒメアトスカシバそっくりなので、その時はヒメアトスカシバの異常型ということで納得した。しかし、次の日、上県町で全く同じスカシバガが葉上にいるのを見つけ、黒化型と正常型の交尾個体が見つかったのでフォームか未知の種と思った。その後、専門家の方の見解ではヒメアトスカシバの1つのフォームであろうとの結論をみている。



オオモモトスカシバ

2009年7月5日

対馬市厳原町

対馬のオオモモトスカシバは本土産とは別亜種の ssp. *sangaica*（名義タイプ亜種）になっている。この亜種は「みんなで作る日本産蛾類図鑑」によると石垣島・中国に分布する。